



住宅にも敬老の日

ノーマンテの住宅は人間でいう52歳で寿命？！

人も住宅も40才以降の健やかさはメンテナンスが鍵

業界初の個人向け総合不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）、マンション管理組合向けコンサルティングを行う“不動産の達人株式会社さくら事務所”（東京都渋谷区／社長：大西倫加）では、もうすぐ**敬老の日を迎えるにあたって、老いた住宅の次のライフステージについて専門家がアドバイスを行う「実家の未来マップ」サービスを限定価格にて提供する「住宅にも労りを！敬老の日特別キャンペーン」を開始致します。**詳しくは下記をご覧ください、コラム最下部のフォームからお気軽にお申込みください。

敬老の日は、国民の祝日に関する法律によると「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨としており、また、SDGsの3番でも「すべての人に健康と福祉を」と掲げられています。しかし、それはすべて建物にも言えることです。**そこで、当社では住宅の健康寿命を延ばすことを目的に、住宅の定期メンテナンスの重要性を発信すると共に、築古住宅の次のステージについて考えるきっかけとして、今回のキャンペーンを企画しました。**老いた住宅について「売るべきか？」「貸すべきか？」「あと何年使えるのか？」「災害リスクは？」などの疑問に専門家がお答えしますので、この機会にぜひご活用ください。

築年数⇨人年齢	メンテナンスしている場合	メンテナンスしていない場合
築20年⇨26才 生活習慣病リスク	この時期に1回目の外装工事が済んでいれば、今後のコンディション維持がしやすくなる	日常生活に関わる不具合が発生している ひび割れや雨漏りが発生しやすくなる
築30年⇨39才 肥満傾向、糖尿病の急増	設備用の配管も更新の時期に入り、それと合わせて水回り設備のリフォーム工事も検討できる	建物の機能的な限界を迎えている（雨を防ぐことができない） 建物内部の構造（骨組み）が部分的に傷み始める
築40年⇨52才 がんの死亡率急上昇	耐震基準の改定があってもおかしくないため、耐震補強なども検討するとさらに安心	構造躯体が致命的な状態に劣化しており、安全に住める状態ではない（人の命を守る役割を果たせない）＝ 住宅としての寿命
築50年⇨65才 介護リスクが高まる	ライフスタイルの変化として、生活空間に求める使い勝手や安全性などの見方も変化する時期なので大掛かりなリフォームも検討	物理的な限界を迎えており、 廃墟化
築60年⇨78才～ 長生きリスクに備える	建て替えるまたはリフォームすべきか、売すべきか、貸すべきか様々な選択肢から検討できる	廃墟

※建物の平均寿命を65.3年（小松幸夫/2013「建物の平均寿命実態調査」、人間の平均寿命を84.5歳（厚生労働省/2022「令和3年簡易生命表」として算出

住宅にも労りを！敬老の日特別キャンペーン

キャンペーン期間:2022年9月7日(水)～9月30日(金)まで

実家の次のステージについて専門家がアドバイスを行う、「実家の未来マップ」サービスを、
抽選で**1名様に無料**でご提供！さらに抽選で**10名様に税込14,080円税込9,190円**の特別価格でご提供！

※サービスの詳細についてはこちらをご覧ください <https://www.sakurajimusyo.com/expert/miraimap.php>

■ご応募はこちらのコラムページ下部の応募フォームからお願いします <https://www.sakurajimusyo.com/guide/33667/>

■不動産の達人 株式会社さくら事務所■（東京都渋谷区／代表取締役社長：大西倫加） <https://www.sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行う「不動産の達人サービス」を提供、58,000組を超える実績を持っています。

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記までご連絡ください。

株式会社さくら事務所 東京都渋谷区桜丘町29-24 桜丘リージェンシー101 <https://www.sakurajimusyo.com/>
TEL 03-6455-0726 FAX 03-6455-0022 広報室：石原・堤 press@sakurajimusyo.com